

[12月4日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

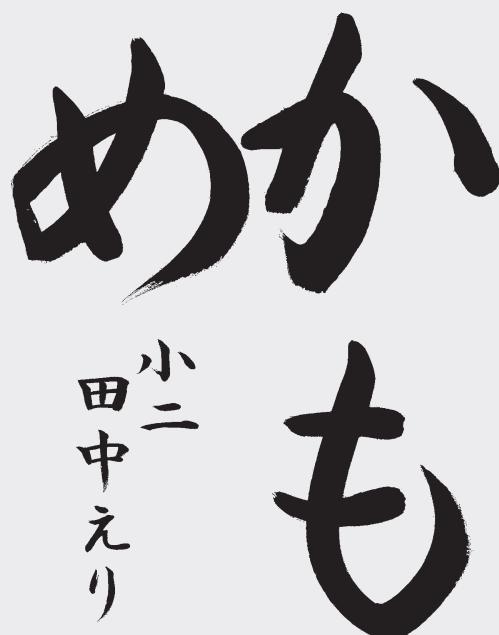


大平邑峰先生

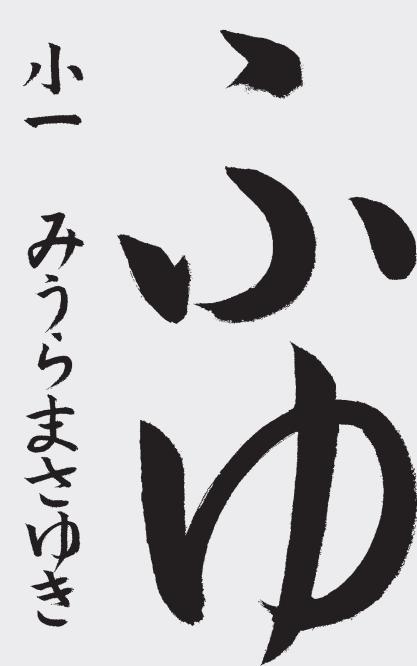
幼・小学1年参考手本



名越蒼竹先生



川村美泉先生



前田龍雲先生

[12月4日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本

千歩

小四
川口はな

後藤大峰先生

小学3年参考手本

広がり

小三
川口ゆい

佐藤菜扇先生

小四
田中小春

冬ごもり

三浦鄭街先生

やけ夕

小三
山田和子

小林琴水先生

[12月4日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

線海
岸

小六
平山そら

千葉蒼玄先生

小学5年参考手本

星
る
夜

小五
美空光

種谷萬城先生

い
樂
声

小六
清水和美

辻元大雲先生

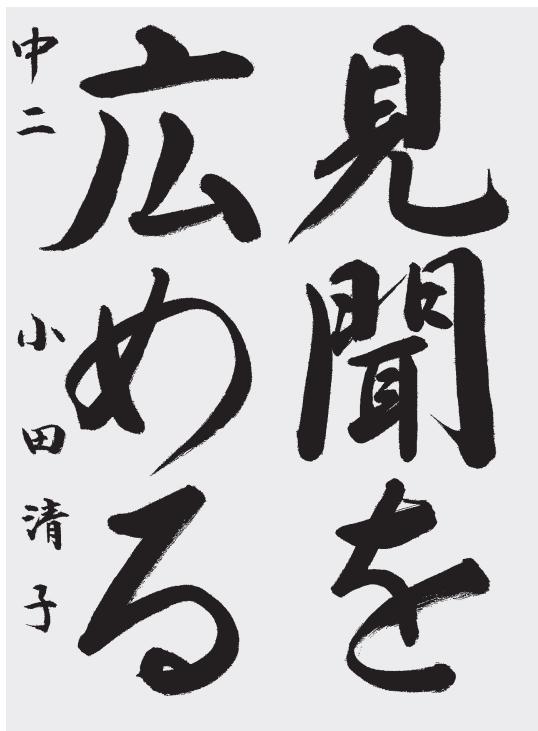
絵
画

小五
自次時成

廣瀬舟雲先生

[12月4日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



半田藤扇先生



片岡豪峰先生



※この課題は行書で書くこと。

中国の歴史上の人物で一番書が上手といわれている人が王羲之です。その中でも代表作がこの蘭亭序です。筆脈に注目して下さい。



小竹石雲先生

発展〔中学生〕

・有名な古典の名跡に挑戦してみよう

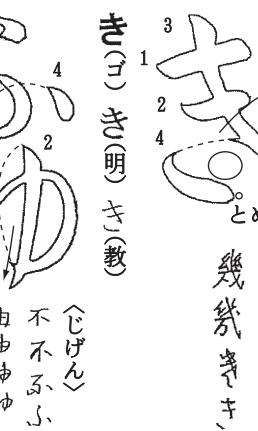
毛筆参考手本解説(1)

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。
ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

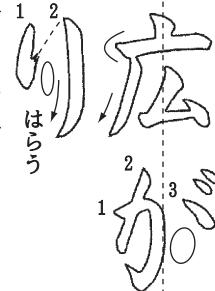
1 年

つながる気持ちで
とめる

〈じげん〉
幾 筆



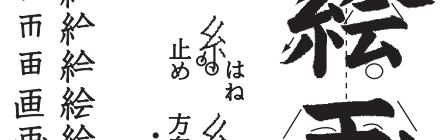
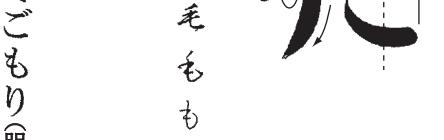
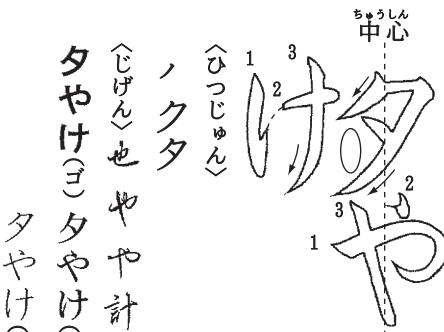
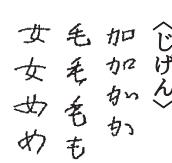
3 年



4 年



5 年



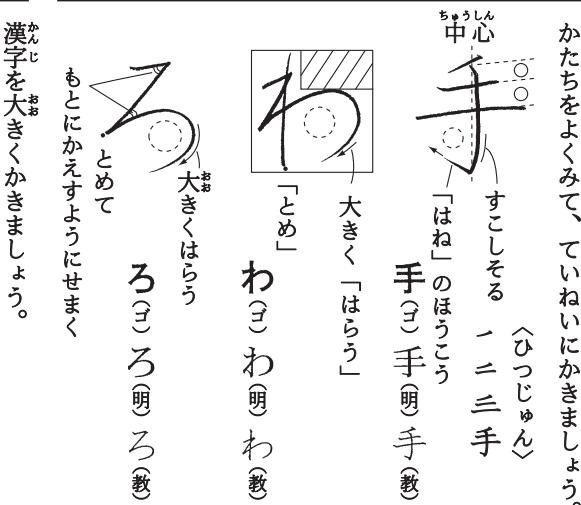
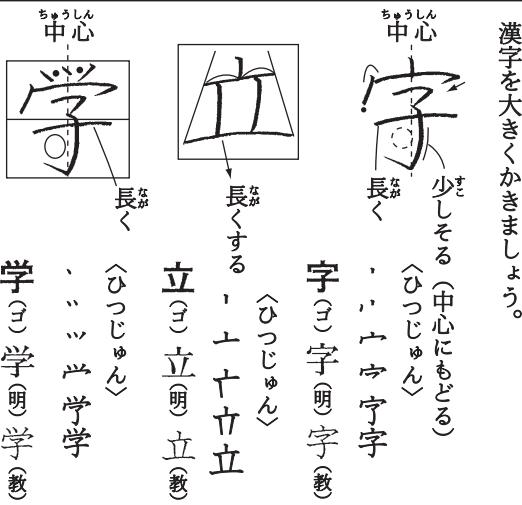
硬筆参考手本

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

かたちをよくみて、ていねいにかきましょう。
かたじゅん

支部名				
段・級				
学年				
名前				
二 大元だん	を イ ラ ス ト で 学 ぶ 。	か ん 字 の な り 立 ち		

支部名			
だん・きゅう			
がくねん			
一 なまえ			
わ を 手 を つ く る う 。	わ を 手 を つ く る う 。	お き み こ 。	わ を 手 を つ く る う 。



[12月4日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年

小学3年

支部名	新聞	を記事に書き、自分と	今まで体験したこと	今まで	を
段・級	」		した	ま	記
学年	を作りまし	た	こ	ま	事
四	た	う	う	う	う
名前	日野友平	。	。	。	。

支部名	家まで走りました	上地千晴	森の小道を通つて
段・級	三	名前	三
学年	上地千晴	名前	上地千晴
三	。	。	。
名前	。	。	。

聞

聞
（許容）
聞はなす
耳の払い

新

新
（許容）
新はなす
耳立新新

事

事
（筆順）
事事事事事事

横画の長さに注意して書きましょう。

横画の長さと分間に注意

事（明）事（教）

事（教）

走
（筆順）
走止走止走止

走
（筆順）
走止走止走止

家
（筆順）
家家家家家家

□
のせる

マ通

（筆順）
マ通通通通通

「右払い」をしっかりと書きましょう。

[12月4日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

小学5年

支部名	よ う に 暗 く な つ た	れ 、 あ た り は 夕 暮 れ の	海 は 深 い き り に 包 ま
段・級			
学年	六		
名前	中居かおり		

支部名	て 活 気 に 満 ち て い る	イ ブ 。	も う す ぐ ク リ ス マ ス
段・級			
学年	五		
名前	大西友美		

漢字の分間や「へんとつくり」の大小に
気をつけて字形を整えましょう。

暮

包

海

海 海 海 海

七つの横分間に
気をつけよう

（筆順）
サ音 莫 幕 暮

暮 (3) 暮 (明) 暮 (教)
接し方に注意 (十画目の右はら
いは八画目の横画の上に出る)

包 (3) 包 (明) 包 (教)
接し方に注意 (筆順)

海 (3)

海 (明) 海 (教)
接し方に注意 (筆順)

漢字・カタカナ・ひらがなの文字の大きさに
注意して書きましょう。
縦画は内側に向ける。

街

（筆順）
ソル
方向と長さ
彳彳彳往往往

商

（筆順）
ノのところ余白
（筆順）
街 街 街 街 街 街 街 街

商

（筆順）
曲がり
（筆順）
商 商 商 商 商 商 商 商

漢字

注意して書きましょう。
縦画は内側に向ける。

〔12月4日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生 (行 者)

支 部 名	
段・級	
学 年	中三
名 前	永森希望
持続可能な未来のために SDGsを理解し、さまざまな 社会課題に関心を持ちたい。	

SDGs（エスディージーズ）とは、「持続可能な開発目標」のこと、世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界中の皆で2030年までに解決していくという国際社会共通の計画・目標です。

「行書の点画の変化や省略の例」

糸 → 糸
ネ → ネ
言 → 言

中 学 生 (楷 書)

支 部 名	
段・級	
学 年	
中 三	
名 前	
永 森 希 望	S D G S を 理 解 し 、 さ ま ざ ま な 社会課題に 関心を 持ちたい。

正しい字形で、行がゆがまないよう、
注意して書きましょう。

これからのお作品締切日と課題

令和6年1月号～6年3月号までの作品締切日と毛筆課題

小 5

つ	ム		
い	で	月	
て	音	曜	
話	楽	日	
し	会	の	ホ
合	の	出	ー
つ	す	し	ム
た	。	ま	ル
。	物	で	に
に	に	ま	1

幼・小 1

も	つ	空	は
づ	き	は	ど
き	ま	ど	こ
ま	す	こ	ま
。	。	ま	で

小 2

小	ね	こ	れ
ね	が	れ	は
が	鳴	は	、
鳴	る	、	大
る	音	大	き
音	で	き	な
で	す	な	か
す	。	か	。

小 3

一	面	雪	が
面	が	が	ふ
が	銀	ふ	り
銀	世	り	、
世	界	あ	た
界	で	た	り
で	す	り	。
す	。	。	

小 4

が	の	雪	が
の	生	が	ふ
生	活	ふ	り
活	聞	り	、
聞	て	、	あ
て	に	あ	た
に	い	た	り
い	関	り	。
関	係	。	
係	。		
。	の		
の	自		
自	分		
分	。		
。	あ		
あ	る		
る	た		
た	事		
事	ち		

1月号の硬筆課題

※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

中学生 (全学年共通)	小 6	小 5	小 4	小 3	小 2	幼・小 1	締切日
心機一転	惠風(蘭亭序・臨書)	固い決意	百人一首	生きる力	たつ年	おせち	ね
炭を継ぐ	観察力	理想	新春	はつゆめ	ぞうに	もち	1月8日
暗中模索	先聖(孔子廟・臨書)	お手伝い	文庫	よろこび	ゆびわ	む	1月
梅林美しい	世界旅行	道路	自由	図工	ポスト	やま	2月7日
千変万化	風雲(孔子廟・臨書)	希望の春	約束	発表	花だん	せ	2月
つかむかな	平和運動	周囲	美しい花	美しい花	きずな	ビデオ	3月10日

中学生

東	京	五	輪	の	メ	ダ	ル	は	す	べ	て	回	收	し	
た	不	要	な	携	帶	電	話	や	小	型	家	電	、	ま	さ
都	市	鉱	山	か	ら	の	産	物	で	あ	つ	た	。	。	。
に	市	鉱	山	か	ら	の	産	物	で	あ	つ	た	。	。	。



書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、(公財)書道芸術院評議員です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

ある先生からこの漢字を見せられ、少々驚きました。「予」が、なんと逆さになっている。漢字を知らないからです。実は、この漢字の筆順を尋ねられたのですが、即答を避けました。「縦画は上から下へ、横画は左から右へ」という大原則つまり、世間の常識でこの漢字の筆順を説くことができないと思われたからです。そして、この漢字に関しては世間の常識と思われる筆順の原則を、まったく真逆にした「右から左へ、下から上へ」が妥当かと思われたからです。

この漢字は「ゲン」と読み、普段使いなれている二玄社の書道字典「新書源」の目次にも出ているとことでしたので、さっそく「ゲン」で索引を引いてみると、この見慣れない形の漢字が確かに載っていました。この項目のページを開くと、「幻」という大きな活字の下に小さい活字でこの漢字が記されていました。古典の碑刻や毛筆の名筆の書がいろいろと掲載されているのが書道字典ですが、逆転した「予」の古典の隸楷行草は残念ながらありませんでした。

そこでさらに深めるために、日本で一番漢字数が多く掲載されている諸橋轍次編『大漢和辞典』を引いてみることにしました。ここにこの漢字は「幻」という漢字の本字。『正字通』幻 説文では「𠂔」を作ると記されました。今度は「幻」を引いてみました。すると「その字形は・予（あたえる）の字を反倒し、あたえる真似をしてあたえず、人をたぶらかす意にとる。」と記されました。もう少しわかりやすく意訳すると、「予（あたえる）」という字の上下を逆に書くことによって意味も真逆になり、あたえる真似つまり、あたえないという意味になる、つまり



ある先生からこの漢字を見せられ、少々驚きました。「予」が、なんと逆さになっている。漢字を知らないからです。実は、この漢字の筆順を尋ねられたのですが、即答を避けました。「縦画は上から下へ、横画は左から右へ」という大原則つまり、世間の常識でこの漢字の筆順を説くことができないと思われたからです。そして、この漢字に関しては世間の常識と思われる筆順の原則を、まったく真逆にした「右から左へ、下から上へ」が妥当かと思われたからです。

この漢字は「ゲン」と読み、普段使いなれている二玄社の書道字典「新書源」の目次にも出ているとことでしたので、さっそく「ゲン」で索引を引いてみると、この見慣れない形の漢字が確かに載っていました。この項目のページを開くと、「幻」という大きな活字の下に小さい活字でこの漢字が記されていました。古典の碑刻や毛筆の名筆の書がいろいろと掲載されているのが書道字典ですが、逆転した「予」の古典の隸楷行草は残念ながらありませんでした。

り、与えるつもりだったものが与えないこととなつたので、この行為は「まぼろし」となったということです。

この逆さの「予」字は、「幻」字の小篆の字形をそのまま楷書にしたものであることがわかりました。この大漢和辞典に掲載されている字である以上、正式な漢字であることは間違いないのですが、(1)いったいいつごろできたものなのか。(2)過去に一般社会で使われた事例があるのか。という疑問がわいてきました。

(1)についてですが、「説文では𠂔に作る」という記述があるので、許慎の『説文解字』が著された以前ということになります。篆書の一種であるこの漢字の「小篆」の形が存在する以上、秦の始皇帝の頃かと想定されます。しかしこの逆さの漢字は、隸書に変遷する時代以後になるとこの字形は用いられず「幻」を多用するようになつたと考えます。それは、先に述べたように一般的な漢字の筆順の原則から大きく逸脱していますので、手書きしにくかつたからだと思われます。よって、「𠂔」が消え、「幻」字が世間では広く用いられるようになったと考えます。

ところが清時代になり康熙帝が、『康熙字典』(現代の漢和辞典の大本となつてゐるもの。日本の漢和字典もこの本を拠り所としている)の編纂を当時の学者たちに命じました。この字典は、省略され続けてきた楷書の字形を小篆の字形を根拠にして本来の正しい字形を探り、正すことが目的でした。よって篆書の形を基とした「𠂔」は、編纂当時の学者たちに注目されるのは当然で、再び、古文献から発掘され、字典に記載されるようになつたものと思われます。手で書くことの利便性よりも漢字の成り立ちの姿を優先した不思議な楷書の姿だと考えます。

第81回 筆順の原則が通じない不思議な漢字

今月のホープ



整齊で美しい字形の九成宮の雰囲気を正確にとらえました。転折・はね・払いの筆法も見事で凛とした響きが伝わります。

支部名	天心	二 ュ	ニ
段・級		一 ス	ス
学年	六	番組の	レ
氏名	山田 遥香	の	ス
天心	さ れ て い ま し た。	よ う と く の こ と	う ま く い る よ う

カタカナ漢字ひらがなをバランスよく纏め一字一字心配りが感じられる落ち着いた作品です。名前も立派です。

中三 黒澤未晴 (紅葉書塾)



名前を一字一字丁寧に心込めて書いています。本文も正確な字形とバランス、素晴らしい作品に仕上りました。

小六 山田遙香 (天心)

支部名	工 業 大 学	ベ レ ス ト	最 も 危 険
段・級	独 立 登 山	リ ー ト	シ ル ー ト
学年	五	選 び	登 山
氏名	牧田一成	一 成	一 成
天心	山 田 遙 香	牧 田 一 成	工 業 大 学

何よりも行がすっきりと立っているために作品全体が大きく明るく見えます。字形も正確に書いていて立派です。

小一 川崎鈴夏 (福山塾)

小五 牧田一成 (新栄)

1月号毛筆参考手本（予告） 1月8日締め切り分

幼・1年

ね
いなおかりん

3年

年たつ
川小三
田ゆか

5年

一百人
山上希

中学

惠風
中三 増長志帆

理想
小五 田中愛衣子

決意
小六 小坂望

力観察
小六 木本有子

2年

もち
小一
むらかみふゆ

ゆはめつ
小三
伊藤なみ

6年

継炭ぐを
中二
川村一子

一心転機
中二
切替進

○秋季昇段級試験の審査が終了しました。今回も大変多くの出品があり、一点一点審査員の先生方で丁寧に審査しました。
『合格証』は団体の先生宛に送付いたします。
楽しみにしていてください。

○今月の中学生の毛筆課題は、東晋・王羲之（303?~361?）の書「蘭亭序」です。

王羲之は、1600年以上も昔、四世紀の中国で活躍した政治家・書家です。楷書・行書・草書の三書体を芸術の域にまで高め、中国はもちろん、日本でも現代にいたるまで、様々な書家に大きな影響を与え、「書聖」と呼ばれました。

「蘭亭序」は、王羲之の代表作であり、古来、行書の手本として最も高く評価されています。王羲之の書はその他にも数多くの尺牘（手紙）などが伝わっています。しかし、王羲之自身が書いた真跡は、全て失われております。一つも現存していません。残されているものは、すべて拓本や模写された複製で、この「蘭亭序」もそのひとつです。

○10月号の月例審査で、中学生の毛筆の課題、「九成宮醴泉銘」の作品が多く寄せられました。今月号の王羲之の臨書にもぜひ挑戦してみてください。

（悠輝）

八編集余録